

関西大学の学生と地域で「家台」を作製

～大阪府モデル事業 南花台スマートエイジングモデル事業の一環～

河内長野市では、関西大学の学生が主体となって、郊外開発団地の、屋外を使いこなすための「家台（やたい）」をつくります。ホーム（家）を持ち出すツールなので、「屋台」ではなく「家台」です。

これは、「大阪府市医療戦略会議提言」の7つの具体的な戦略の1つである「スマートエイジング・シティ」のモデル事業の中の学生プロジェクトとして実施するもの。

「家台」の作成に当たっては、南花台住民を巻き込んだ家台コンペティションを開催して、南花台の将来像や家台の活用も含めて家台のカタチを考えます。プロトタイプ家台を使ってわかってきた南花台の外の魅力や可能性と合わせて検討・作成します。

【プロトタイプ家台を使った活用事例】



▲家台を使ったカフェ



▲世代をこえた出会いの場として



▲家台で楽しむ子どもたち

コンペの講評会では、建築家や役所職員など専門家を含めた議論の場所とし、参加者で意見を共有しながら「南花家台」のコンセプトを決定します。コンペは家台の内容の決定だけでなく、参加者が普段は考えないような視点から南花台を見つめ直すきっかけの場所でもあります。

作成のスケジュールは、6月中旬にコンペの募集を行い7月3日に講評会を実施。作成は原則として8月の月・水・土曜日に旧南花台西小学校にて作成予定です。

※詳細は別添資料を参照してください。

問い合わせ 河内長野市都市づくり部都市創生課 ☎0721-53-1111



【家台】 やたい

ホーム（家）を持ち出す道具のこと。

南花台のいろんな場所に趣味ややりたいことを持ち出して、南花台全体を使いこなす秘密兵器。南花台がもっと楽しくなる。



外を使いこなす。

空き地や空き家、道路や公園などの公共空間など、南花台で活用しきれていない「外」の空間を使いこなして南花台の魅力を活かしながら、まち全体で楽しむ暮らし。

まちと共につくる、気づきのプロセス。

まちの人と一緒に、「考える」「つくる」ことで、まちの持つ魅力や可能性にみんなで気づきながらプロジェクトは進みます。

【家台】 やたい ～学生と住民と地域事業者でつくる、南花台らしいまちの使いこなしへ～

外を使いこなすための「家台」をつくります。ホーム（家）を持ち出すツールなので、【屋台】ではなく【家台】です。

空き地の利用交渉や屋外での営業許可など、個人では乗り越えることが大変なハードルも、【家台】を通してみんなで実現可能なものにしていきます。学生を中心に、地域の住民や活動に共感してくれる方との「つながり」やこれからの「まちの使いこなし方」のプロセスを考えます。

これまでの取り組み①： 家台会議

家台の取り組みは、「家台会議」で決まっています。

住民が自由に参加できる会議で、南花台をどんなまちにしていきたいか、そのためには何をすべきか。具体的な活動の内容を話し合いながらまちで求められている使いこなしを検討します。



▲ 家台会議



▲ 家台の貸し出し

これまでの取り組み②： 外を使ってみる

実際に外を使ってみることで、参加した全員で課題に気づいていきます。緑道や駐車場など場所の問題、規模や誰が使うのか、近隣住民との関係など使い方の問題、様々な課題が外を使うにつれて発見できます。今では、まちの人の要望で家台の貸し出しなどの個人的なものから、行政イベントなどのまちスケールでの場所の提供まで、幅広い外の使われ方がされています。



▲ 多世代で外を使う



▲ 駐車場をイベント的に使う

これまでの取り組み③： ふわっと café

南花台にはいろいろな外の使い手があります。ふわっと café は、外を使ってみんなで美味しく食べることを目的として結成されたママさんたちのグループです。使いこなし隊の活動と協働して様々な美味しい料理を振舞ってくれます。時にはプロの料理人と協力して料理の開発などをして、まちなかで食べることの楽しさに気づきます。



▲ ふわっと café の出店

これまでの取り組み④： 出張コノミヤテラス

コノミヤ南花台店 2F にはまちの拠点となるコノミヤテラスがあります。月に数回まちに出て家台で出張コノミヤテラスをしています。南花台には散歩を楽しむ人が多いですが、まちの中には意外と休憩する場所がありません。出張コノミヤテラスでは、散歩途中の休憩やお母さんたちの井戸端会議など、南花台の日常的な外の使われ方を検討しています。



▲ 出張コノミヤテラス

これまでの取り組み⑤： 子どもが企画する使いこなし

家台を使えば、子どもだけではできない使いこなし方を子ども企画でできます。「南花台をもっと楽しいまちにしたい！」という一人の男の子の発案から始まり、大人を巻き込んでドッチボール大会が開かれました。子どもから大人まで、多様な目的を持つ人が南花台の使いこなし方に気づいていきます。

これまでの取り組み⑥： 道をみんなで使ってみる

住宅が立ち並ぶだけの道は、ほとんど自動車の通り道としてしか活用されていません。通りに面した住宅の人同士で通りを管理して、前面道路を前庭の延長のように使いこなしせば、道は生活の溢れ出す変化に富んだ暮らしの道へと変わっていきます。道を中心に周辺の住民と一緒に外を使いこなすことで、外部の管理や使い方を模索していきます。



▲ 住宅街の道にはみ出して外を使う

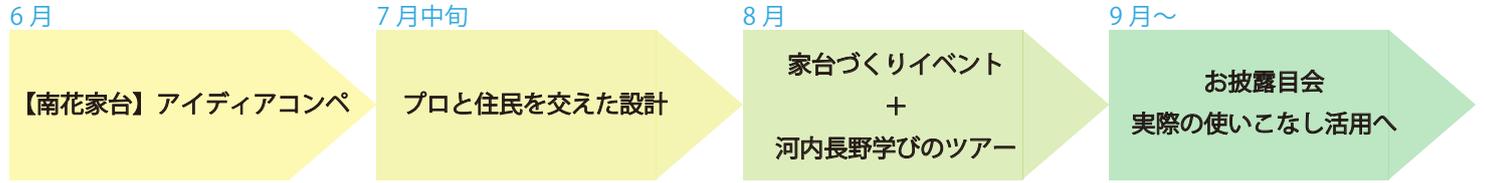


▲ 子ども家台

今後の取り組み ～家台づくり【南花家台】（なんかやたい）

これまでまちの人と一緒に気づいたコトをもとに【南花家台】（なんかやたい）を作成します。

南花台住民を巻き込んだ家台コンペティションを開催して、南花台の将来像や家台の活用も含めて家台のカタチを考えます。プロトタイプ家台を使ってわかってきた南花台の外の魅力や可能性と合わせて検討・作成します。「気づきのプロセス」を共有しながら出来上がる【南花家台】は、まち全体を使いこなすための大切な存在となります。



【南花家台】アイデアコンペ

子どもから大人まで年齢と立場を問わず参加できるコンペティションを行い、どんな家台が欲しいかを検討します。

講演会では、建築家や役所職員など専門家を含めた議論の場所とし、参加者で意見を共有しながら【南花家台】のコンセプトを決定します。コンペは家台の内容の決定だけでなく、参加者が普段は考えないような視点から南花台を見つめ直すきっかけの場所でもあります。

河内長野を学ぶツアー

【南花家台】は、材料に河内材を使用し、その活用は地元事業者との協働するなど、地域の持つ魅力と密接に関係して実現します。「家台づくりプロジェクト」は、河内長野だから出来るまちづくり活動です。実際に作るだけでなく「家台材料がどこから来ているのか」など、まちの魅力を知ることによって愛着をもちながら、河内長野を見て、感じて学べるツアーも計画しています。

1. 林業ツアー（森林組合協力）
2. 滝畑ダムで昨年度作成カヌー（水道局協力）
3. 地元食材を使ったスローフード（地元農家協力）



▲ 昨年度プロジェクトでの林業ツアー

次につながる資金調達のプロセス

① 地域事業者からの協賛

外を使いこなしていくと、小商いの可能性も広がります。地元事業者の方に共感してもらい、協賛者として出資してもらうことで、【南花家台】の活用の幅が広がっていきます。

② クラウドファンディング

全国的にファンディングをすることで南花台での活動を外へと広がっていきます。地域間での交流や自治体間での連携など、活動の認知度をあげることで、さらなる可能性を模索します。



▲ プロトタイプ家台お披露目会



▲ 家台を使って「ふわっとcafé」



▲ 外の活用で世代をこえた出会いの場



▲ 空き地活用の事例学習と提案



▲ プロトタイプ家台の作成



▲ パティシエの協賛

コンペティション【南花家台】(なんかやたい)

① 外の使いこなし方を考え、実現するためのツール【南花家台】を提案する

<趣旨>

南花台のまちには、意外と使われていない場所が多い。近年の人口減少に伴い今後さらに未利用地が増加することが想定される。未利用地の活用方法をまちのみんなで考えることで、将来の南花台での暮らしを想うと同時にその気づきのプロセスを共有する。

<対象>

小学校と地域にフライヤーを配布する。(使い方だけの提案でも可)
 対象年齢：0～100歳。表現は自由。
 友達・親子・学生など、グループでの提出も可
 敷地は南花台地区とする。(南花台地区以外の住民も提出可)
 家台は移動式で、50万円程度のもの。

<内容>

まちを使ってやってみたいことはありますか？外に出て、まちをみんなですべて使えば暮らしはもっと楽しくなる。どんな場所がいいか。何が必要か。一緒に考えてみましょう。まちのみんなでやりたいことと、それを持ち出す移動する道具【南花家台】を提案してください。

<スケジュール>

コンペ期間： 2016年6月2日(木)～2016年6月29日(水)
 提出場所： コノミヤテラス
 講評会： 2016年7月3日(日) コノミヤテラス
 中間講評会： 2016年6月26日(日) コノミヤテラス
 実施期間： 講評会后、提案を参考に設計・夏期の家台づくりへ

② 建築学生と考える、プロと考える

<建築学生と考える>

関西大学の建築学生はできるだけ住民とグループを組み、提案を考える事で、地域のニーズと実現可能性を考えていく。また、コノミヤテラスにて随時、学生が相談に乗る事でまちについてより深く考えていくようなコンペティションを目指す。

<プロと考える>

講評会は、まちで実際に活躍している、建築家・市役所職員・関西大学が協働して行う。地域住民と専門家提案を考察する事で、現実的なまちの事から考える事ができ、それを参加した全員で共有する事ができる。

③ 告知方法

南花台地区での全戸配布
 コノミヤテラスにてポスターの掲示
 コノミヤ1Fにてポスターの掲示
 随時コノミヤテラスで提案の相談を受け講評会にて展示

<老若男女が参加できるコンペ>

提出方法は特に指定しない。絵だけでも良いし、工作だけでもよい。どのレベルでも参加可能なもので他の提案を見て楽しめるような講評会となるような工夫が必要である。



応募期間： ～2016年6月29日(水)18:00 (参加申し込み不要)
 提出方法： コノミヤテラスで受付
 対象年齢： 0～100才
 提出内容： スタイルはすべて自由
 設計条件： 自分のまちを対象に予算30万円程度の家台
 中間講評会： 6月26日(日)13:00～コノミヤテラス(学生講評)
 最終講評会： 7月3日(日)13:00～コノミヤテラス(専門家講評)
 ～作品はすべて、7月3日(日)の最終講評会で展示いたします。～
 連絡先： 関西大学建築環境デザイン研究室
 学生代表 中馬啓太 メール:tuikaikonasita@gmail.com
 主催： 咲く南花台事業 ストック活用WG 南花台つかいこなし隊

夏期の作成期間企画

① 地域と協力して作成

<趣旨>

小学校や自治会にも呼びかけ、子どもから大人まで多世代で作りに上げる。一つのものを一緒に作る事で、今までなかったまちのつながりや、地域に住む人の魅力お互いに気づきながら活動する。

<小学校跡地で作成>

作成場所は、南花台旧西小学校で行う。自治会行事やサークル活動など様々な利用がされているが、家台づくりを行うことで、学校という特別な南花台のストックを地域住民と使いこなすことができ、まちのための場所として小学校跡地が位置付けられていくことを目指す。

② 家台を作るだけでなく、その後のつかわれ方も考える

<my 箸の作成、my ハンコの作成>

参加人数が多い時や、小学生には難しい工程の時は、家台を活用する際に使用する。my 箸を作成する。また、昨年度カヌーでハンコを作成したが、今年度からの参加者には新しくハンコを作成してもらい、作成者の証として家台に刻印する。

<河内長野を学ぶツアー>

まちの魅力を知る事でまちについて考える。林業ツアーの後、滝畑ダムで、昨年度カヌーを浮かべ、地元食材で昼食をとる。森林組合と水道局の方にレクチャーをいただき、地域の暮らしを支えるまちの環境を学ぶ。

③ お披露目会で未利用地を使ってみる

<下水処理場跡地とコノミヤテラス屋上の利用>

作成した家台を実際にまちで使ってみる。将来的にまちで日常的に使えることを目的とし、営業許可や活用法の検討などを行う。今回のお披露目会では下水処理場跡地とコノミヤテラス屋上の利用方法を検討する。

<事業者との協賛>

未利用地を日常的に利用する上で、その運営や活用の幅として小商いの利用可能性にも着目する。将来的な持続可能性や地域還元型の利用を考え、まずは地元事業者との協力を目指し、出店時の課題点や必要手続きの検討をする。



▲ コノミヤ南花台店の屋上は普段は駐車場として使われている



▲ 南花台旧西小学校跡地のプールで家台作成を行う



▲ 下水処理場跡地は住宅地より斜面方向に低いため防音の条件がある

全体スケジュール

| 家づくりPJ工程表 | | メンバー：中馬 柴田 綱田 山中 倉本 早川 竹谷 阪井 小寺 黒河 宮森 森岡 松下 | | | | | | | | | | 作成日： 6月7日 | | |
|--------------------|----------------------|---|--------------------------------------|---------------------------|-------------------------|--------------------------|---|------------------------|--|--|--|-----------|--|--|
| 項目 | 担当 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | | | | | | | |
| 家台会議 | 中馬 | ▽家台会議 5月13日 | ▽家台会議 6月11日 | ▽夏祭りについて 7月9日 | | ▽お披露目会について 9月10日 | ▽行事参加について 10月1日 | | | | | | | |
| 全体構成 アイデアコンペ | 中馬 | | ▽フライヤー配布 コンペ期間 ▽中間発表会 6月26日 | ▽講評会 7月3日 | | | | | | | | | | |
| 設計 南花台旧西小学校 | 中馬 | 事業者・住民の講評・設計者の依頼 ▽林田さん打ち合わせ 6月27日 | 家台の設計条件の整理 | ▽設計期間 7/3-7/24 | 材料準備 7/25-7/29 | 作成期間 8/1-8/31 月水木の計 9月3日 | ▽お披露目会 | 9月～10月中 ▽事業者と未利用地活用 | | | | | | |
| イベント企画 河内長野を知る | M1 | 協力依頼 | 企画作成 6/25-7中 | | | 8月17日 ▽河内長野ツアー | | | | | | | | |
| 協賛 事業者 | 綱田 | ▽企画書作成 | 未利用地の空間デザイン | | 出店依頼・事業者とイベント内容のすり合わせ | | | | | | | | | |
| 助成金 | 黒河 小寺 森岡 宮森 | 企画書作成 ▽提出 5月31日 | ▽書類審査▽面接審査 6月15日 6月22日 | ▽結果発表▽入金 7中 7末 | | | | | | | | | | |
| 敷地検討 空き地 | 中馬 | ▽ヒアリング | 管理制度の告知 | | | ▽空き地利用提案の配布 地権者へ営業 | | | | | | | | |
| 南花台小学校 | | 使用依頼 | | | 会場整備 | | | | | | | | | |
| 下水処理場 | | | | | 使用許可 | 設置・敷地整備 | | | | | | | | |
| 広報 小中学校 | B4 | コンペフライヤー作成 5中-5/31 | 8月応募ポスター作成 6-6/31 | ▽コンペフライヤー全戸配布 6/8-6/10 | ▽8月募集ポスター配布 ▽保険手続き完了 | | | | | | | | | |
| 講評会ポスター作成 6/1-6/16 | | ▽配布 | | | | | | | | | | | | |
| 行事 | | ▽古川邸訪問 5月15日 | ▽出張コノテラ 6月16日 | ▽夏祭り 7/30-7/31 | ▽河内長野ツアー 8月17日 | ▽ジャズフェス 10月8日 | ▽運動会 10月16日 ▽避難訓練 10月23日 ▽ふれあいコンサート 10月30日 | | | | | | | |

▽ 作成期間のスケジュール (毎週月・水・土 10:00-17:00)

| 8月 | 1 | 3 | 6 | 8 | 10 | 13 | 15 | 17 | 20 | 22 | 24 | 27 | 29 | 31 | 日数 | | | | | |
|----|----------|---|---|---|----|----|--------------|----------------------------|----|----|----|----|----|--------------|---------|-------|---------|-----|--|--|
| 曜日 | 月 | 水 | 土 | 月 | 水 | 土 | 月 | 水 | 土 | 月 | 水 | 土 | 月 | 水 | 14 | | | | | |
| 子供 | 家台のその後説明 | | | | | | | ハンコ作り→家台作成→手の空いている子供はmy箸作り | | | | | | | | | | | | |
| 大人 | 説明 | | | | | | | 土台の作成 | | | | | | | 河内長野を学ぶ | | | | | |
| 学生 | 説明 | | | | | | | 骨組みの作成 | | | | | | | 下地作成 | 仕上げ作成 | 備品の取り付け | 補講日 | | |
| | | | | | | | 子供と大人にわかれて作業 | | | | | | | 子供と大人にわかれて作業 | | | | | | |